

問1 室町時代に現れた北山文化や東山文化などの具体的な事例について述べた文として、正しいものはどれか。（2020年 福岡県公立入試 類似）

1. 金閣や銀閣の建築に代表されるように、公家の優雅さと武家の精神が組み合わさった。
2. 浮世絵や歌舞伎など、都市の商人の好みを反映した娯楽が全国に普及した。
3. 唐招提寺の建築のように、遣唐使が持ち帰った大陸の文化がそのまま再現された。
4. 文明開化の波を受け、レンガ造りの建物や洋服といった新しい風俗が取り入れられた。

問2 足利尊氏が京都に幕府を開いた時期の政治情勢について、正しい説明はどれですか。（2017年 愛媛公立入試 類似）

1. 後醍醐天皇が吉野に逃れて別の朝廷を立てたため、二つの朝廷が並立する状態になった。
2. 朝廷から実権を完全に奪い、鎌倉を拠点として全国の守護を統制した。
3. 勘合貿易を本格化させ、明（中国）の皇帝から日本国王として封じられた。
4. 執権政治を継承し、合議制に基づいた武士による独裁体制を確立した。

問3 15世紀に首里を都とした琉球王国が、東アジアにおいて大きな経済力を得た背景として、当時の貿易の仕組みを説明した記述として最も適切なものを選びなさい。（2023年 静岡公立入試 類似）

1. 自国で産出される銀を主な輸出品とし、特定の商人とのみ取引を行う独占貿易を行った
2. 中国の陶磁器や絹織物、東南アジアの香料などを仕入れ、他の国々へ転売する中継貿易を行った
3. 幕府から与えられた朱印状を持つ船が、東南アジア各地に日本町を建設して直接支配を行った
4. 大陸の優れた制度を学ぶことを主な目的とし、利益を目的としない使節の派遣に限定した

問4 15世紀後半から16世紀にかけての京都では、商工業者が中心となって都市の自治が行われていました。当時の様子を説明した文章の中で、彼らが再興させた伝統行事として触れられることの多い祭礼はどれですか。（2022年 徳島公立入試 類似）

1. 祇園祭
2. 葵祭
3. 時代祭
4. 天神祭

問5 大航海時代において、コロンブスが大西洋を西に向かって航海するという、当時としては画期的な手段を選択した歴史的背景や動機として、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. オスマン帝国の台頭により従来の東回りルートが制限されたため、地球球体説に基づき西からアジアを目指した
2. アフリカ南端の喜望峰を経由する航路が荒天で通れないことが判明し、急遽ルートを変更した
3. アメリカ大陸の存在を既に知っており、そこにある広大な金や銀の鉱山を独占する目的があった
4. ポルトガルが既にインド航路を独占していたため、武力衝突を避けて未開の太平洋を横断しようとした

問6 室町時代の「馬借」は、単なる運送業者としての役割だけでなく、正長の土一揆などの社会的な動乱においてもしばしば中心的な役割を果たしました。彼らが一揆を主導することができた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 栃木公立入試 類似）

1. 馬による移動手段と独自のネットワークを持ち、各地との情報伝達や組織的な集団行動が容易であったため
2. 幕府から警察権や徴税権を委託されており、武力を行使して農民を指揮する立場にあったため
3. 各地の関所を自由に撤廃できる特権を持っており、関所の通行料を巡って農民を先導したため
4. 五人組などの制度を通じて近隣の農民を監視・統制する仕組みを、幕府から任されていたため

問7 室町時代、農民たちが自衛や共同作業、さらには領主との年貢交渉を行うために結成した自治的な組織を何というか、最も適切なものを選びなさい。（2023年 大阪公立入試 類似）

1. 惣（惣村）
2. 座
3. 株仲間
4. 五人組

問8 室町時代の流通や経済状況について、当時の統計資料では、特定の少数の勢力が市場の取引において独占的な地位を占めていたことが示されています。このような社会背景において、室町幕府や寺社が行った経済政策として正しいものを選んでください。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. 交通の要所に関所を築き、人々の移動や物資の輸送に対して通行料を課した。
2. 座と呼ばれる団体を廃止し、誰でも自由に商売ができる楽市・楽座を全国で展開した。
3. 問屋が全国の市場を支配することを禁じ、すべての流通を武士が直接管理するようにした。
4. 貨幣の使用を禁じて米による物々交換を奨励し、寺社の特権をすべて剥奪した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 金閣や銀閣の建築に代表されるように、公家の優雅さと武家の精神が組み合わさった。	足利義満が建立した金閣は公家文化と武家文化の融合を象徴し、後の足利義政による銀閣は、禅宗の精神を取り入れた書院造を特徴としています。これらは室町時代の「公家文化と武家文化の融合」を具体的に示す事例です。選択肢にある町人文化（浮世絵など）は江戸時代、遣唐使の影響は飛鳥・奈良文化、文明開化は明治時代の事象です。
問2	答え 1 後醍醐天皇が吉野に逃れて別の朝廷を立てたため、二つの朝廷が並立する状態になった。	足利尊氏が京都で光明天皇を擁立したのに対し、京都を脱出した後醍醐天皇は吉野（奈良県）で南朝を開きました。この結果、約60年間にわたって北朝と南朝が争う南北朝時代が続くことになりました。室町幕府が京都に置かれたのは、こうした朝廷との密接な関係を維持・監視する目的もありました。
問3	答え 2 中国の陶磁器や絹織物、東南アジアの香料などを仕入れ、他の国々へ転売する中継貿易を行った	琉球王国は地理的に日本、中国、東南アジアの中間に位置していたため、各地域の産物を集めて別の地域へ運ぶ「中継貿易（なかつぎぼうえき）」という形態で繁栄しました。特に中国（明）との朝貢貿易を通じて得た品物を日本や東南アジアに売ることでも多大な利益を上げ、その富が都である首里の華やかな文化を支える基盤となりました。
問4	答え 1 祇園祭	応仁の乱で中断を余儀なくされていた祇園祭を、1500年（明応9年）に復活させたのは京都の町衆たちでした。彼らは経済力を背景に、山鉾巡行などの華やかな祭礼を支えることで、京都の文化的な活気を取り戻そうとしました。
問5	答え 1 オスマン帝国の台頭により従来の東回りルートが制限されたため、地球球体説に基づき西からアジアを目指した	15世紀にオスマン帝国が成長して地中海東部の交易路を支配したため、ヨーロッパ諸国は高い関税を避け、アジアへ向かうための新しいルートを自力で探す必要に迫られました。コロンブスは地球が球体であることを確信しており、アフリカを南下する東回りよりも、大西洋を西へ進むほうがアジア（ジパングやインド）への近道であると考え、スペインの援助を受けて出発しました。
問6	答え 1 馬による移手段と独自のネットワークを持ち、各地との情報伝達や組織的な集団行動が容易であったため	馬借は多くの馬を抱え、物資を運ぶために各地を往来する広範なネットワークを持っていました。この高い移動能力と組織力、そして各地の状況に詳しいという特性が、一揆の際の情報共有や迅速な集団行動において非常に有利に働きました。そのため、徳政（借金の帳消し）を求める農民らと協力し、幕府や高利貸しに対して抗議を行う中心勢力となることがありました。
問7	答え 1 惣（惣村）	室町時代には、生産力の向上や貨幣経済の浸透を背景に農民の自立が進みました。彼らは地縁的な結びつきを強め、自分たちで村を運営するための自治組織である「惣」を形成しました。選択肢にある「座」は商工業者の同業者団体、「株仲間」は江戸時代の商人の組合、「五人組」は江戸時代の相互監視・連帯責任の制度です。
問8	答え 1 交通の要所に関所を築き、人々の移動や物資の輸送に対して通行料を課した。	室町時代は「座」と呼ばれる商工業者の団体が、寺社や公家などの権力者に奉仕する代わりに販売の独占権を得るなど、特権的な勢力が経済に強い影響力を持っていました。これと同じく、室町幕府や寺社もまた、自らの支配地や重要な街道に関所を設置して通行料を得ることで、流通から利益を吸収していました。織田信長が行った楽市・楽座はこの関所や座の特権を否定しようとしたものであり、室町時代の傾向とは対照的です。